

令和7年度第2回静岡市認知症対策推進協議会 委員名簿

日時：令和8年3月3日（火）19:15～20:45

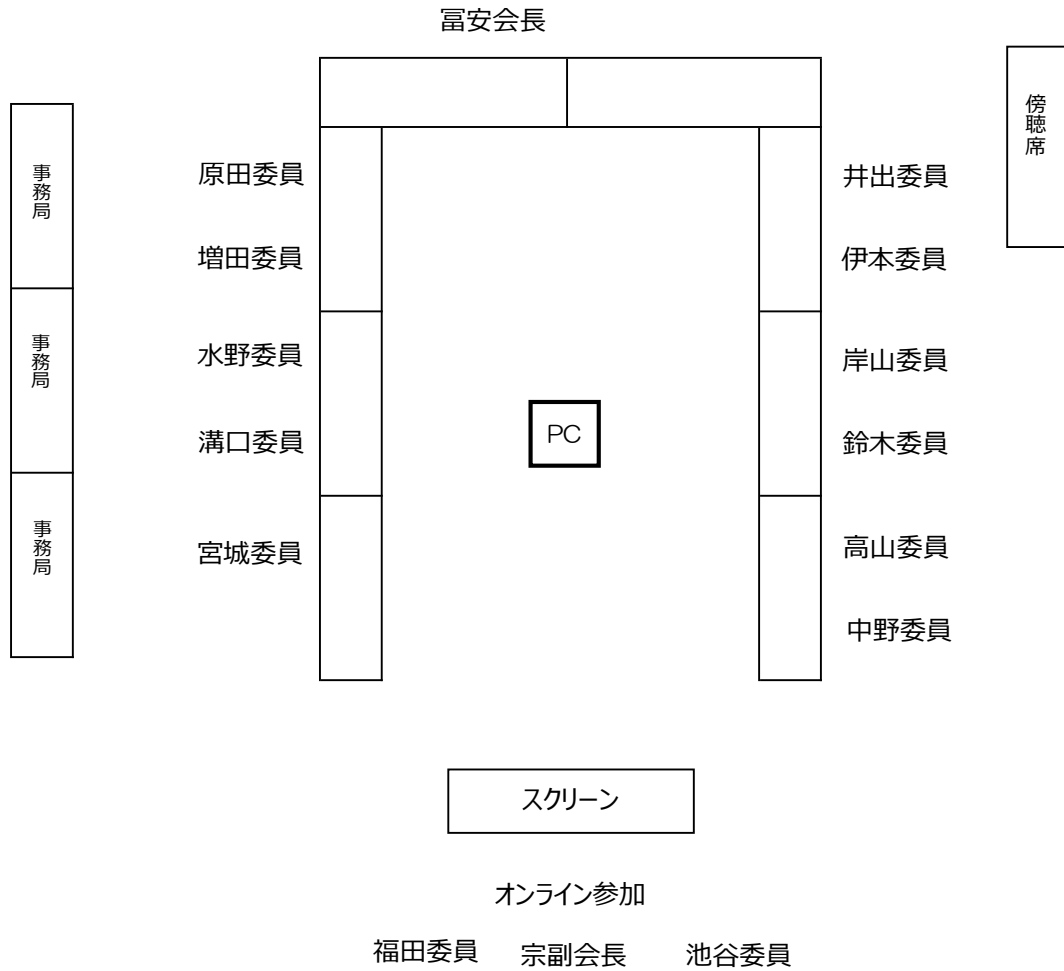
会場：静岡市役所 新館17階 171・172会議室

	所 属	氏 名	※敬称略
1	社会福祉法人 静岡市社会福祉協議会地域福祉推進課	池谷 雄介	(いけたに ゆうすけ)
2	一般社団法人 静岡市ケアマネット協会	井出 智子	(いで ともこ)
3	市民委員	伊本 知香	(いもと ちか)
4	公益社団法人 静岡県看護協会	岸山 眞理	(きしやま まり)
5	一般社団法人 静岡市静岡医師会	鈴木 研一郎	(すずき けんいちろう)
6	一般社団法人 静岡市清水医師会	宗 幹之	(そう かんじ)
7	清水介護家族の会	高山 初美	(たかやま はつみ)
8	静岡県公立大学法人 静岡県立大学	富安 眞理	(とみやす まり)
9	一般社団法人 静岡市静岡歯科医師会	中野 清風	(なかの きよかぜ)
10	市民委員	原田 さゆり	(はらだ さゆり)
11	一般社団法人 静岡県社会福祉士会	福田 智一	(ふくだ ともかず)
12	公益社団法人 日本認知症グループホーム協会	増田 大介	(ますだ だいすけ)
13	一般社団法人 静岡県介護福祉士会	水野 公智	(みずの きみとし)
14	静岡県精神科病院協会	溝口 知裕	(みぞぐち ともひろ)
15	清水薬剤師会	宮城 規秋	(みやぎ のりあき)

令和7年度 第2回 静岡市認知症対策推進協議会 座席表

令和8年3月3日(金) 19:15~20:45

静岡市役所新館17階 171・172会議室



令和7年度 第2回 静岡市認知症対策推進協議会 次 第

日 時：令和8年3月3日(火) 19:15～20:45
会 場：静岡市役所静岡庁舎 新館 17階 171・172 会議室

1 開 会

2 挨拶

3 報 告

- (1) 令和7年度静岡市認知症施策の実績について : 資料1
- (2) 認知症疾患医療センターの指定更新について : 資料2

4 議 題

- (1) 令和8年度静岡市認知症施策の年間計画 (案) : 資料3
- (2) 認知症施策推進計画策定に係る取組 (案) : 資料4

5 閉 会

【配布資料】

- ・出席者名簿／座席表
- ・資料1 : 令和7年度静岡市認知症施策の実績について (報告)
- ・資料2-1 : 認知症疾患医療センター公募選定について (報告)
- ・資料2-2 : 認知症疾患医療センター公募選定における有識者の意見聴取
- ・資料3 : 令和8年度静岡市認知症施策の年間計画 (案)
- ・資料4-1 : 認知症施策推進計画の策定に係る取組 (案)
- ・資料4-2 : 認知症施に関する意識等調査票・回答
- ・資料4-3 : 対面による認知症本人・家族・介護関係者等の声の収集
- ・資料4-4 : 認知症の方の暮らしについてのアンケート

令和7年度 静岡市認知症施策の実績について（報告）

※1月末時点

I. 認知症への理解を深めるための普及・啓発

① 認知症サポーター養成講座：

地域住民や企業、学校などの団体にキャラバン・メイト（講師）を派遣し、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を見守る「認知症サポーター」を養成する。

【静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画の活動指標・計画】

活動指標	R7計画	R7実績※1月末時点
開催回数	110回	96回
養成数	5,400人	3,022人
サポーター数（累計）	76,100人	73,149人

● 認知症サポーター養成講座の開催回数・サポーター数

年 度	開催回数	サポーター数 （人）	うち、こどもサポーター （小・中学生）（人）	サポーター数累計 （人） ※H18年度～	うち、こどもサポーター 累計（小・中学生） （人）
令和5年度	97	2,744	994	68,080	7,987
令和6年度	74	2,047	409	70,127	8,396
令和7年度	96	3,022	1,064	73,149	9,460

② 認知症ミニ講演会（4者協働事業）：

市民を対象に、医師によるミニ講演会を開催し、市民の認知症についての知識や理解を高める。

※静岡市・2医師会・エーザイ(株)による協定

● 令和7年度実施：4回

（入江生涯学習交流館主催、千代田地域包括主催、飯田庵原地域包括主催、かけこまち七間町主催）

③ パンフレット「みんなの認知症予防」の作成・配付：

認知症の予防や対応等についてのパンフレットを作成・配付し、市民の認知症についての知識や理解を高める。

● パンフレット「みんなの認知症予防」の作成数・配付先

作成数：8,000冊

配付先：自治会長、民生委員・児童委員、医師会、歯科医師会、薬剤師会、病院、公共施設等

II. 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供

① かかりつけ医認知症対応力向上研修：

かかりつけ医に対し、適切な認知症診療の知識・技術や認知症の人とその家族を支える知識と方法を習得するための研修を実施し、認知症の初期から状況に応じた認知症の人への支援体制の構築を図る。

【静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画の活動指標・計画】

活動指標	R7計画	R7実績
開催回数	1回	1回
養成数	30人	43人

● かかりつけ医認知症対応力向上研修の開催状況

受講者数：56人（市外含む）

日 時：令和7年11月29日（土）15：00～19：00（Zoom）

講義内容	静岡会場
講義Ⅰ 「かかりつけ医の役割」編	おもて循環器科 表 俊也 医師
講義Ⅱ 「基本知識」編	静岡てんかん・神経医療センター 小尾 智一 医師
講義Ⅲ 「診療における実践」編	水谷脳神経外科クリニック 水谷 暢秀 医師
講義Ⅳ 「地域・生活における実践」編	あさり内科クリニック 浅利 博基 医師

② 認知症サポート医養成研修：

認知症患者の診療に習熟し、かかりつけ医への助言その他の支援を行い、専門医療機関や地域包括支援センター等との連携の推進役となる認知症サポート医を養成する。

【静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画の活動指標・計画】

活動指標	R7計画	R7実績
養成数	3人	6人
配置圏域数	29圏域	29圏域

● 認知症サポート医養成研修受講者数

静岡医師会：4人、清水医師会：2人

区	令和7年度	サポート医 総数
葵 区	2	30
駿河区	2	26
清水区	2	28
合計	6	84

③ 認知症疾患医療センターの運営：

認知症の疑いのある人に、かかりつけ医等からの紹介により、速やかに鑑別診断を行う認知症専門の医療機関を運営する。

【静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画の活動指標・計画】

活動指標（年）	R7計画	R7実績
運営箇所数	3箇所	3箇所

● 認知症疾患医療センター指定病院

- ・静岡てんかん・神経医療センター 外来件数 2,053 件（うち鑑別診断 256 件）
- ・医療法人社団リラ溝口病院 外来件数 672 件（うち鑑別診断 141 件）
- ・静岡市立清水病院 外来件数 449 件（うち鑑別診断 119 件）

※ 2センター（静岡てんかん神経医療センター・清水病院）が R7 年度指定期間の終了となることから、指定病院の公募を行った。（別途報告）

④ 認知症初期集中支援チームの設置：

認知症の人やその家族に早期から関わる「認知症初期集中支援チーム」を配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築する。

【静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画の活動指標・計画】

活動指標	R7計画	R7実績
検討委員会の開催数	2回	2回
チームの活動	実施	実施

● 認知症初期集中支援チーム設置箇所

- ・静岡てんかん・神経医療センター（疾患センターチーム） 1 箇所
 - ・地域包括支援センター（包括チーム） 29 箇所
- 計 30 箇所

● 認知症初期集中支援チーム支援実績（1月末現在）

相談受付数：4件

（うち、チーム員会議にて非該当と判断されたケース：1件、相談受付のみのケース：3件）

※訪問支援対象者チェックシートにより『支援対象者』とはなったものの、初期集中支援非該当となり、支援開始に至らなかった。

● チーム活動マニュアルの改訂を実施

⑤ **認知症介護実践者等研修の実施：**

認知症高齢者に対して適切な知識と技術により介護サービスが提供されるよう、事業者の知識、経験、職種等に
 応じた研修を開催し、介護技術の向上、専門的な人材の養成など、認知症高齢者に対する介護サービスの充実
 を図る。

【静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画の活動指標・計画】

活動指標	R7計画	R7実績
各研修開催数 ・実践者研修 ・開設者研修 ・計画作成担当者研修 ・実践リーダー研修 ・管理者研修 ・指導者養成研修	各研修 1回	各研修 1回

● 認知症介護実践者等研修実績

研修名	研修日程	参加者人数
実践者研修	講義 5 日間 + 職場実習	97 人
実践リーダー研修	講義 7 日間 + 職場実習	4 人
開設者研修	講義 1 日間 + 職場体験	1 人
管理者研修	講義 2 日間	27 人
計画作成担当者研修	講義 2 日間	10 人
指導者養成研修	講義 15 日間 + 職場研修	0 人

⑥ **認知症地域支援推進員の配置：**

医療機関と介護サービス及び地域の支援機関を繋ぐコーディネーターとして認知症地域支援推進員を配置し、医
 療と介護の連携強化、認知症カフェへの助言など地域における支援体制の構築を図る。

【健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画の活動指標・計画】

活動指標	R7計画	R7実績※1月末時点
連絡会の開催	2回	1回
新任者研修の実施	1回	1回
現任者研修の実施	1回	1回

※ 2月 25 日に 1 回実施

● 認知症地域支援推進員の配置箇所

地域包括ケア推進課 1 人
 地域包括支援センター（各 1 人） 29 人 計 30 人

●連絡会の開催

①日時：令和7年7月29日（火）

参加者：29人

内容：認知症地域支援推進員の位置づけと役割の説明、今年度の活動計画について（グループワーク含む）、活用できる市の事業について紹介

②日 時：令和8年2月25日（水）

参加者：29人

内 容：新任者・現任者研修の報告、今年度の活動実績について（グループワーク含む）

※連絡会内で、『認知症地域支援推進員研修伝達研修』を実施

●令和7年度認知症地域支援推進員研修の実施

参加者

（新任者）・地域包括ケア推進課 1人

（現任者）・安西番町地域包括支援センター 1人

・伝馬町横内地域包括支援センター 1人

・美和地域包括支援センター 1人

・岡船越地域包括支援センター 1人

・松原地域包括支援センター 1人

●認知症地域支援推進員事例検討研修の実施（昨年度メンバーからの要望により今年度のみ実施）

日 時：令和7年11月26日（水）

内 容：実際の事例を用い、グループでの事例検討と、こころの健康センター大久保所長からのスーパーバイズ

参加者：20人

III. 若年性認知症施策の強化

① 若年性認知症普及啓発事業：

広く市民の認知症に対する理解促進を図るため、認知症の当事者やご家族からのメッセージをとおし、市民が認知症を“自分ごと”と捉え、認知症と共に生きる備えと心構えについて考える機会を創出する。

【健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画の活動指標・計画】

活動指標	R7計画	R7実績
当事者や家族の交流の場づくりの支援	実施	実施

●若年性認知症も含めた認知症本人と家族のつどいの定期開催（会場：かけこまち七間町）

①令和7年5月25日（日）

参加者：当事者8人・家族3人

内容：ラダーゲッター、交流会（座談会）

②令和7年7月13日（日）

参加者：当事者6人・家族2人

内容：ポッチャ、交流会（座談会）

③令和7年10月26日（日）

参加者：当事者9人・家族3人

内容：ヨガ&卓球ゲーム、当事者と家族が分かれての交流会

④令和8年1月25日（日）

参加者：当事者10人・家族6人

内容：モルック、当事者と家族が分かれての交流会

※いずれも若年性認知症の本人・家族の参加なし

② 若年性認知症の啓発：

若年性認知症を含む認知症の早期発見につながるチェックの実施や、若年性認知症に関するリーフレットの配布。

- リーフレットや相談機関を表示したカードをかけこまち七間町のイベント等で配布。

IV. 認知症の人の介護者への支援

① 認知症カフェ普及促進事業：

認知症カフェの普及を図り、身近な地域で認知症の人やその家族と地域の専門職、住民等とが交流し、認知症の人及び介護をする家族の負担を軽減するとともに、地域住民の認知症への理解を深める。

【健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画の活動指標・計画】

活動指標	R7計画	R7実績
日常生活圏域に1箇所以上の開設	17圏域	15圏域

●認知症カフェ認証数

	令和6年度	令和7年度
運営数	19	20
新規	1	1
辞退	3	0

V. 認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進

① 認知症しずメール・認知症見守りシール：

徘徊で行方がわからなくなった認知症高齢者を、行政だけでなく、警察や地域の方などの協力を得て、早期に発見し、事故を未然に防ぐため、検索が必要な高齢者の情報をメール配信したり、検索時の目印となる見守りシールを配付する。

●徘徊認知症高齢者見守りシステム（しずメール）協力者数（受信登録）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
しずメール	1,907	1,780	1,764
LINE	9,260	10,388	11,532

●徘徊認知症高齢者見守りシステム（しずメール）事前登録者数

令和5年度	令和6年度	令和7年度	累計登録者数
66	64	52	804

※うち、現登録者数は205人

●メール配信実人数

令和5年度	令和6年度	令和7年度
3	7	5

② **認知症地域支え合いプログラム実施事業：**

認知症による行方不明者が発生した場合の搜索練習や認知症の方を地域で見かけた時の声かけの手法等、認知症の人やその家族を地域で見守り支え合うために必要な知識や技術を身につけるためのプログラムを住民主体で企画・実施する活動を支援する。

【健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画の活動指標・計画】

活動指標	R7計画	R7実績
認知症地域支え合いプログラム企画地区数	2地区	2地区
認知症地域支え合いプログラム実施地区数	3地区	3地区

● 認知症地域支え合いプログラム実施状況

(1) 港北圏域

内 容：認知症高齢者への対応の仕方について学ぶ
 日 時：令和7年8月18日（月） 13：30～15：00
 場 所：袖師生涯学習交流館2階 講義室
 実行委員：チームオレンジ袖師、袖師地区住民、港北地域包括支援センター
 参 加 者：29人

(2) 大里高松圏域

内 容：認知症予防啓発イベント
 日 時：令和7年11月8日（土） 14：00～15：30
 場 所：静岡市地域福祉共生センター みなくる
 実行委員：大里高松地域包括支援センター、静岡市南部図書館
 参 加 者：約77名

(3) 蒲原由比圏域

内 容：蒲原・由比地区 S 型デイサービス交流会（認知症サポーター養成講座＋対応を考える会）
 日 時：令和8年2月10日（火）
 場 所：蒲原生涯学習交流館
 実行委員：蒲原由比地域包括支援センター、蒲原由比地区 S 型デイサービス
 参 加 者：61名

③ **チームオレンジ運営支援事業：**

チームオレンジ（認知症サポーター等が支援チームを作り、認知症の人やその家族の支援ニーズに合った具体的な支援に繋げる仕組み）の立ち上げに向けた活動を支援する。

【健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画の活動指標・計画】

活動指標	R7計画	R7実績※1月末時点
チームオレンジ新規立ち上げチーム数	3チーム	2チーム

※2月19日に1チーム立ち上げ

●チームオレンジ立ち上げ状況

年度	チーム名	圏域	ステップアップ研修
令和2年度	チームオレンジ駒形	城西	令和2年 11 月 14 日
令和3年度	—	—	—
令和4年度	チームオレンジみ・て・こ	大里高松	令和4年 7 月 26 日
	チームオレンジ大谷久能	大谷久能	令和4年 10 月 15 日
	チームオレンジ長田西	丸子	①令和4年 10 月 13 日 ②令和4年 11 月 29 日
令和5年度	チームオレンジ袖師	港北	令和5年 10 月 27 日
	チームオレンジ今宿チーム	蒲原由比	令和5年 11 月 17 日
	オレンジ野ばらの会	大里中島	令和5年 12 月 12 日
令和6年度	チームオレンジ(名称未定)	八幡山	令和6年 12 月 13 日
	チームオレンジ樹寿	長尾川	令和6年 12 月 16 日
	チームオレンジポピー	三保	令和7年 1 月 14 日
令和7年度	チームオレンジなごみ	八幡山	令和7年 12 月 09 日
	チームオレンジハーベスト	港南	令和7年 12 月 26 日
	チームオレンジレッツゴーシニア	八幡山	令和8年2月 19 日

④ 「認知症の人にやさしい地域づくり」モデル創出事業：

認知症になっても希望を持って暮らし続けることができる社会を構築するため、チームオレンジを核として「認知症の人にやさしい地域づくり」のモデルを創出し、広く普及を図る。

【静岡県健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画の活動指標・計画】

活動指標	R7 計画	R7 実績
モデル創出地域での実施	実施	実施

●令和7年度モデル地域

駿河区南部学区（チームオレンジみてこ）

●実施状況

第1回検討会議：令和7年5月13日（火）	13：30～	@石田集会場
第2回検討会議：令和7年6月24日（火）	13：30～	@登呂本町公民館
会長等との話し合い：令和7年11月28日（金）	11：30～	@みなくる
第3回検討会議：令和7年12月23日（火）	13：30～	@登呂本町公民館
第4回検討会議：令和8年1月13日（火）	13：30～	@石田集会場
現場聞き取り：令和8年1月16日（金）	9：30～	@南八幡会場

●成果

本人の見守り支援を中心とした活動を行っている団体をモデルとすることにより、認知症の心配が疑われる者、独居のため、孤独死のリスクが高い者へのかかわり方、適切な見守り方について把握することができた。

※令和5年度の駒形学区（チームオレンジ駒形）、令和6年度の由比蒲原地区（チームオレンジ今宿）、令和7年度の南部学区（チームオレンジみてこ）の3つのモデル地区の活動をまとめたものを各地域包括支援センターに配布し、好事例を共有し、各地区の活動の参考（モデル）とする。【R7年度をもって事業終了】

VI. 認知症ケア推進センターの取組みについて

① 静岡市認知症ケア推進センター「かけこまち七間町」:

認知症ケアを推進する拠点として、認知症の本人やその家族の支援を行うとともに、全世代を対象として広く認知症予防や認知症の理解促進に係る事業を展開する。

【静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画の活動指標・計画】

活動指標	R7計画	R7実績※1月末時点
来場者数	5,000人	10,888人

●来場者数

年度	総数			月平均		
	R5年度	R6年度	R7年度(1月末)	R5年度	R6年度	R7年度
実績	12,920	11,744	10,888	1,077	979	1,089

●相談件数

年度	総数			月平均		
	R5年度	R6年度	R7年度(1月末)	R5年度	R6年度	R7年度
実績	444	649	506	37	54	51

●訪問レッスン (R6年度6月開始)

年度	総数	
	R6年度	R7年度(1月末)
実績	29	35

VII. 認知症予防の取組みについて

① 静岡型認知症・MCI予防プログラム普及事業:

認知症の一手手前の状態である、MCI（軽度認知障害）の改善に効果がある静岡市独自のプログラムを、各区1箇所の常設会場で実施、S型デイサービス等の通いの場での体験会を実施。体験会に参加したS型デイサービスへプログラムのDVDの配布や、YouTube動画の配信も実施し、プログラムの普及を広く図る。

【静岡市健康長寿・誰もが活躍のまちづくり計画の活動指標・計画】

活動指標	R7計画	R7実績※1月末時点
プログラム参加人数	4,000人	3,127人

●静岡型認知症・MCI予防プログラム参加延べ人数

年度	R5年度	R6年度	R7年度
実績	3,700	4,701	3,127

② **認知症スクリーニング検査の機会の提供：**

65 歳以上の高齢者を対象に、1 年に 1 回認知症のスクリーニング検査を無料で受けることができる機会を提供し、認知症を早期発見・早期対応することを促進し、認知症の発症を遅らせることで健康寿命を延伸する。

●実施状況

事業開始：令和 7 年 6 月 1 日

実施件数：1,143 件（1 月末時点）

●精密検査結果（全 344 件実施）

MCI	認知症
162 件	103 件

※アルツハイマー型認知症の診断は 103 件中 78 件となり、約 76%を占める形となった。

認知症疾患医療センター公募選定について（報告）

1 静岡市認知症疾患医療センターの指定状況

平成 25 年度から認知症疾患医療センター運営事業を開始し、現在、市内 3 か所の病院を指定し、運営が行われている。令和 7 年度、静岡市で指定している病院は、静岡てんかん・神経医療センター、溝口病院、清水病院の 3 病院であり、静岡てんかん・神経医療センター及び清水病院については、今年度が指定期間の最終年度となる。

指定病院	指定日	指定期間
静岡てんかん・ 神経医療センター	H26.2.1	~R8.3.31
医療法人社団リラ 溝口病院	H27.10.1	~R12.3.31
静岡市立清水病院	H28.10.1	~R8.3.31

2 指定病院の公募について

今回、本年度をもって指定期間が満了する病院があることから、公平性を期するために市内病院に参入の可否について意向調査を実施したところ、既存指定病院のほか、新規で参入の意向がある旨の回答を得たため、次年度以降の指定病院の選定にかかる公募を実施した。

公募により、静岡てんかん・神経医療センターと静岡赤十字病院の二者の応募があったため、選定を行った。

3 選定委員会委員

地域支え合い推進部長、高齢者福祉課長、介護保険課長、地域包括ケア推進課長、保健衛生医療課長

4 選定スケジュール

- (1) 参入意向調査 : 令和 7 年 7 月 23 日 (水) ~ 8 月 20 日 (水)
- (2) 公募期間 : 令和 7 年 10 月 15 日 (水) ~ 11 月 14 日 (金)
- (3) 選考委員会にてヒアリング審査 : 令和 7 年 12 月 9 日 (火)
- (4) 有識者への意見聴取 : 令和 7 年 12 月 10 日 (水) ~ 12 月 19 日 (金)
※有識者の意見聴取について【資料 2-2】
- (5) 選考委員会にて最終評価 : 令和 7 年 12 月 22 日 (月)
- (6) 結果通知 : 令和 7 年 12 月 24 日 (水)

5 選考結果

- ・静岡てんかん・神経医療センター 指定更新
- ・静岡赤十字病院 新規指定
- ※清水病院は指定更新の意向なく、指定終了。
- ※溝口病院は指定期間中であり、変更なし。

認知症疾患医療センター公募選定における有識者の意見聴取

1. 有識者の訪問日程について

有識者	所属	訪問日程
富安 眞理	静岡県立大学	12月18日(木) 15:00~15:30
鈴木 研一郎	静岡市静岡医師会	12月16日(火) 14:30~15:00
宗 幹之	静岡市清水医師会	12月18日(木) 14:30~15:00

2. 意見について

【A氏】

選考について、特に意見はありません。静岡赤十字病院も信頼できる病院です。アクセスが良いため心配はないかと思いますが、清水区のセンターがなくなってしまい、距離が遠くなってしまうことが少し気にかかります。早めに紹介できる体制を整えていただきたいと思います。

【B氏】

選考について、特に意見はありません。これから、清水区民の対応について考える必要があると思います。

【C氏】

選考については、特に意見ありません。静岡赤十字病院は、地元の病院として地域との連携も強く、適任であると感じます。また、静岡てんかん・神経医療センターについては、専門病院として信頼できます。静岡てんかん・神経医療センターの認知症疾患医療センターとしての実績を踏まえ、静岡赤十字病院と連携して行ってほしいと思います。

なお、静岡赤十字病院につきましては、今後、認知症専門医の先生一名に託すのではなく、病院として認知症疾患医療へ尽力いただきたいと思いますので、マニュアルの作成やもの忘れ外来の設置を検討いただきたいと思います。また、市民が迷わずに受診ができるような看板が掲げられると良いかと思います。これからの、センターとしての活躍に期待しています。

令和8年度静岡市認知症施策の年間計画(案)

I. 認知症への理解を深めるための普及・啓発

- ① 認知症サポーター養成講座 : 継続実施
- ② 認知症ミニ講演会 : 継続実施
- ③ パンフレット「みんなの認知症予防」作成・配布 : 継続実施

II. 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供

- ① かかりつけ医認知症対応力向上研修 : 継続実施
- ② 認知症サポート医養成研修 : 継続実施
- ③ **認知症疾患医療センターの運営** : 継続実施
→指定病院の変更（静岡てんかん・神経医療センター、溝口病院、静岡赤十字病院）。
- ④ **認知症初期集中支援推進チームの設置** : 継続実施
→地域包括支援センターと委託契約を締結。※チームの設置や活動等の体制の変更はなし。
通称名「認知症集中支援事業」を使用。
- ⑤ 認知症介護実践者等研修の実施 : 継続実施
- ⑥ 認知症地域支援推進員の配置 : 継続実施

III. 若年性認知症施策の強化

- ① **若年性認知症普及啓発事業** : 継続実施
→「本人と家族のつどい」の開催数 4回⇒6回へ拡充。
- ② 若年性認知症の啓発 : 継続実施

IV. 認知症の人の介護者への支援

- ① **認知症カフェ普及促進事業** : 継続実施
→補助金（1回限り5万円）の廃止。 ※認証事業は継続。

V. 認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進

- | | |
|----------------------------|--------|
| ① 認知症しずメール・認知症見守りシール | : 継続実施 |
| ② 認知症地域支え合いプログラム実施事業 | : 継続実施 |
| ③ チームオレンジ運営支援事業 | : 継続実施 |
| ④ 「認知症の人にやさしい地域づくり」モデル創出事業 | : 事業終了 |

VI. 認知症ケア推進センターの取組について

- | | |
|----------------------------|--------|
| ① 静岡市認知症ケア推進センター「かけこまち七間町」 | : 継続実施 |
|----------------------------|--------|

VII. 認知症予防の取組について

- | | |
|---|--------|
| ① 静岡型認知症・MCI 予防プログラム普及事業
→市民自走に移行するため、R 8年度をもって終了。 | : 継続実施 |
| ② 認知症スクリーニング検査の機会の提供 | : 継続実施 |

VIII. 認知症基本法に基づく静岡市の認知症施策推進計画の策定：新規

→R 7年度の取組、及びR 8の計画策定については別途説明。

認知症施策推進計画の策定に係る取組（案）

1. 概要

令和6年1月に施行された『共生社会の実現を推進するための認知症基本法』により、市町村に認知症施策推進計画策定の努力義務が課された。よって、令和9年3月(令和8年度末)に策定予定。

計画策定にあたっては、地域住民である認知症の人とその家族その他認知症の人と日常生活において密接な関係を有する者が参画したうえで、認知症の人とその家族と共に、各地域において目指すべき「共生社会」の在り方を検討・議論し、各地域での実態や課題に即して施策を検討することが求められる。

2. 令和7年度に実施した取組

① 認知症に関する意識等調査の実施（資料4-2）

- ・ 対象者：住民基本台帳に登録された15～74歳の市民から無作為に抽出した3,000人
- ・ 調査方法：郵送で配布、郵送で回答受け
- ・ 回答数：1,191票（回答率 39.7%）
- ・ 調査結果：資料4-2参照(令和7年12月時点の単純集計)

※現在、受託業者にて集計中。3月中旬までに報告書が提出される見込み。

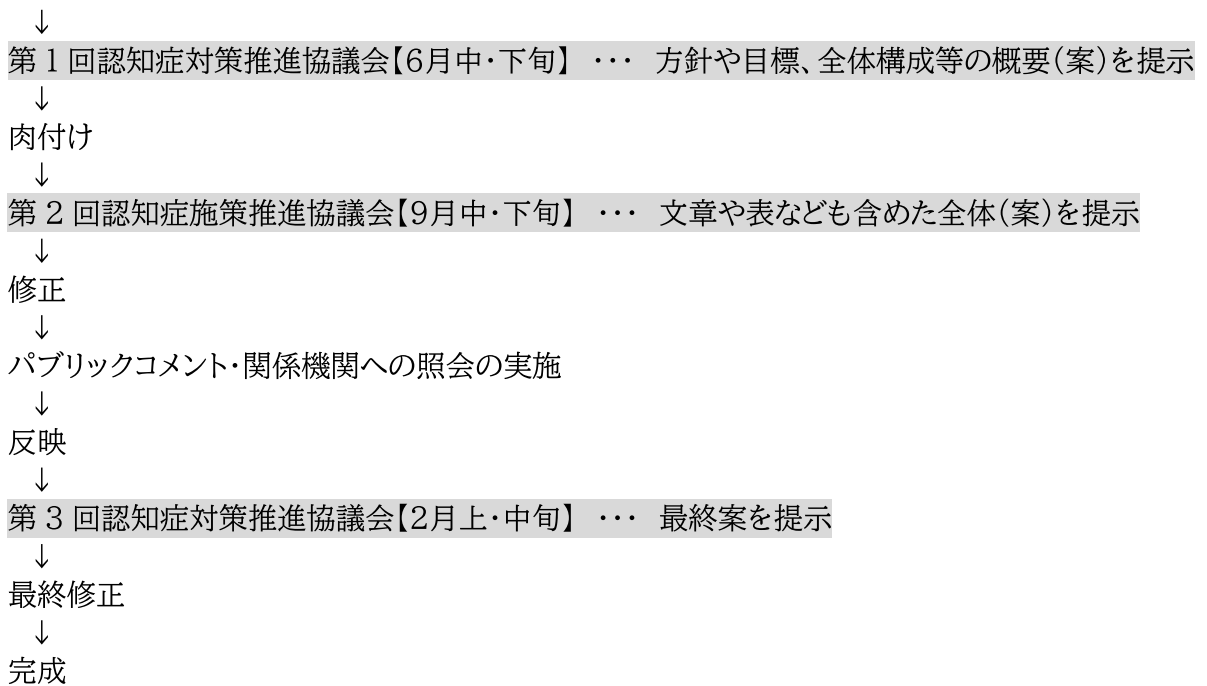
② 認知症本人・家族の声の聴取

- 認知症当事者等の集う場への参加
認知症カフェやグループホーム、本人や家族のつどい等へ参加し、本人約15名、家族約30名、介護者や施設の職員等の関係者約20名に話を伺った。(資料4-3)
→日々の生活における楽しみや悩み、満足度などを会話の中から聞き取った。認知症の方や家族の思いを知るとともに、行政職員が実際に認知症の方に接し、実態に触れる貴重な経験となった。
- 認知症の方の暮らしについてのアンケートの実施（資料4-4）
 - ・ 対象者：認知症本人・家族・介護者(ケアマネージャー等)
 - ・ 調査方法：
 - 本人・ご家族向け→132箇所の関係施設に配架
配架先：
高齢介護課等の関係課・保健福祉センター・老人福祉センター・図書館・生涯学習施設・認知症カフェ運営事業者・介護者きずなの会・清水介護家族の会・若年性認知症相談窓口・静岡県社会福祉士会・一般社団法人静岡県介護福祉士会・公益社団法人静岡県看護協会 等
 - 介護者向け→758箇所の介護事業所(一部重複)宛て一斉送信メール
送信先：
以下のサービスを提供する介護事業所
居宅サービス(訪問看護・通所介護)・地域密着型サービス(介護予防認知症対応型通所介護・介護予防認知症対応型生活介護)・ケアマネージャー(居宅介護支援・介護予防支援・介護予防ケアマネージャー)
 - ・ 回答数：○本人：15件 ○家族：24件 ○介護者：72件（令和8年2月末現在）

3. 今後実施予定の計画策定のための取組

- ① アンケート調査の集計・分析
- ② 令和8年度認知症対策推進協議会での検討
 - ・ 年3回を予定
 - ・ 認知症本人や家族の参加を検討
- ③ スケジュール(案)

計画案の作成



対面による認知症本人・家族・介護関係者等の声の収集

1. 本人

- ・「今は好きなことばかりではないが、楽しくやっている。デイ(サービス)は楽しい。やりたいことは、美味しいものを食べること。お財布と相談しながら、ある程度叶えている。これ以上ボケたら、馬鹿になったら、怖いけど、まあいいやと思っている。悩むことがあっても何でも頭を通り過ぎちゃうし、少しするとまあいいかと思う。」
- ・「認知症は心配、なったらどうしようと思う。もの忘れはあるけど、年だから。まだ大丈夫だと思う。毎日散歩をしているし、デイに週1回来ている。一人で家にいてもつまらない。」

[行政職員所感]

- ・『グループホーム樹寿』、『楽寿の園』を訪問したが、「施設の人がよくしてくれる」「みんな優しい」「時間がたくさんあって困っちゃう(笑)」というように、マイナスの反応がなく表情が明るく、ストレスがないように見えた。(ただし、初見の人(私達)にどこまで本音を話すかは不明。)ただ、PTSDの症状が強い人のデイサービスでは、顔つきが少しキツイ、カタイ印象を受けた。

2. 家族

- ・「出来ていたことが出来なくなっていく過程を見守らなくてはならないのが辛い。イライラもある。」
- ・「つながりが大切。民生委員の方をたまたま知っていて、何でも相談出来たことが本当に助かった。」
- ・「このカフェに来て、色々な人と情報交換したり、おしゃべりすることが、本当に気晴らしになって、ここがあって本当に良かった。」
- ・「(同じように介護をしている)皆さんがどうしているのか、どう思っているのか、聞きたい。」
- ・「地域包括支援センターは周りも知っている人が多く、全部正直に話さないといけないのは、ちょっと…」
- ・「配偶者、兄弟姉妹、親戚との関係に悩まされる。」
(面倒を見ている人と見ていない人での介護方針などの意見の相違や、遺産について等)
- ・「一番面倒を見ている人(私)が一番ひどく当たる」
- ・「トイレ関係が大変。」
(大人のおむつ交換は、男でも大変)(トイレが間に合わない)(便を壁などに塗ってしまう)(おむつ代も嵩む)(おむつも合うものを見つけることが難しい)
- ・「病院に行きたがらず、診断を受けられない。」
- ・「介護認定を取るのに苦労した。調査の人が来ると本人が嫌がり隠れてしまった。」
- ・「老老介護ばかり。(防災の関係で)頼れる近所の人、みたいのを書く欄があったが、みんな老老で人を助ける余裕はないし、頼めない。」

- ・「本人にどこまでやらせて良いのか。家事を奪ってしまうと本人のやる事がなくなるが、本人は出来ると言っても、結局出来なかったり、時間がものすごく掛かったりと、自分がやる方が早いため、葛藤がある。」

[行政職員所感]

- ・ 様々な悩みが積み重なっており、余裕がないように感じる。
- ・ 話ができる人(ただ話を聞いてくれる人)が必要。気持ちを吐き出す場所など。

3. 介護・医療関係者

- ・ 「デイサービスに送り出す家族は、送り出すまで、結構大変だと思う。」
(行きたがらない、支度に時間等が掛かる、等)
- ・ 「介護者同士で、悩みや愚痴を吐き出せる場所、みんなどうしてる？と聞ける場所が必要ではないか。」
- ・ 「国が在宅の方向なので、家族などが介護技術を身に着けないとやっていけない。」
- ・ 「家族を支える部分が弱く、家族の生活が破綻すると思う。」
(日常の介護、遠方からの通院の付き添い、金銭面、等)

4. その他関係者

- ・ 公正証書
認知症だと受け付けてもらえないことあり。認知症になる前に(本人である程度手続き出来る状態のときに)やらないといけない。
- ・ マイナンバーカード
便利な部分もあるが、本人が管理出来ないとリスクも高い。
- ・ 介護マーク
トイレ介護などで、介護者が異性のトイレに入る場合などの場合に便利。
- ・ 最後の10年をどうするか。意思決定支援。分からなくなる前にやる必要がある。

認知症の方の暮らし についてのアンケート

【対象者】

認知症のご本人・ご家族 ※代筆いただいても構いません。



【目的】

静岡市では、令和6年に施行された「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」に基づき、本市における認知症施策推進計画の策定に向けて取り組んでいます。

認知症のご本人・ご家族の声をお聞かせください。

【回答方法】

右記の二次元コードから入力 ▶



【その他の回答方法】

郵送・FAX（裏面にアンケートを記載しています）

住所：〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号

地域包括ケア推進課 認知症施策推進係 宛

FAX:054-221-1577

【回答期限】

令和8年2月28日（土）



「〇〇の時に困っている姿を見た」

「〇〇をしているとき、いつも楽しそうにしている」

「〇〇だったとき、大変な思いをした」

「もっと〇〇が充実してほしい」



皆様の気づきや、率直なご意見をお聞かせください。

【お問合せ】

静岡市 地域包括ケア推進課

☎054-221-1623

【ご本人様アンケート】

※ 代筆の方はレ点を入れてください□

あなたのご年齢を教えてください。	60代以下	70代	80代	90代以上
普段の暮らしの中で、以下の項目について、どのように感じますか。当てはまる数に○を付けてください。 (1:とてもそう思う 2:少しそう思う 3:あまりそう思わない 4:全くそう思わない)				
	とても そう思う	少し そう思う	あまりそう 思わない	全くそう思 わない
① 困ったときに相談できる人がいる。	1	2	3	4
② 周りの人は、あなたのことを理解してくれている。	1	2	3	4
③ 家族や地域の中で役割を持っている。 (ゴミ出しや掃除など)	1	2	3	4
暮らしに関する思いやご意見があれば、お聞かせください。(自由記述)				

【ご家族アンケート】

チェック☑をつけてください。 認知症の方のご年齢 : □60代以下 □70代 □80代 □90代以上 □死別 あなたは、認知症のご家族と同居していますか : □している □していない
ご家族が認知症になり、困っている(困った)ことや、大変な(大変だった)ことはありますか。(複数回答可) 当てはまるものにチェック☑をつけてください。 <input type="checkbox"/> 介護について <input type="checkbox"/> 受診について <input type="checkbox"/> 金銭面について <input type="checkbox"/> 相談先について <input type="checkbox"/> 接し方について <input type="checkbox"/> 身内や地域の人など周囲との関係について <input type="checkbox"/> その他()
上記について、具体的にどのように困っていますか(困りましたか)。(自由記述) []
上記について、今の状況はいかがですか。 <input type="checkbox"/> 今も困っている(解決していない) <input type="checkbox"/> 解決している ↳ どのように解決しましたか。その際、役に立った制度、場所、人などはありますか。(自由記述) []
その他、認知症の方の暮らしに関するご意見や、認知症の方と関わる中でのあなたの思いなどをお聞かせください。(自由記述)

介護従事者等の方対象

認知症の方の暮らし についてのアンケート

【目的】

静岡市では、令和6年に施行された「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」に基づき、本市における認知症施策推進計画の策定に向けて取り組んでいます。

認知症のご本人・ご家族の声を身近で感じている皆様のご意見をお聞かせください。

【回答方法】

右記の二次元コードから入力 ▶



【回答期限】

令和8年2月28日(土)

【お問合せ】

静岡市 地域包括ケア推進課 ☎054-221-1623



「〇〇の時に困っている姿を見た」
「〇〇をしているとき、いつも楽しそうにしている」

「〇〇だったとき、大変な思いをした」
「もっと〇〇が充実してほしい」



【お問合せ】

静岡市 地域包括ケア推進課 ☎054-221-1623

【介護従事者用】

※インターネットでのご回答をお願いします。

※下記のアンケートはインターネットでの入力フォームの見本です。

- ・事業所の場所(活動している主なエリア) _____ 圏域 (29圏域プルダウン)
- ・支援対象者の生活形態 施設 在宅 その他

【問1】あなたが支援している認知症の方全体を思い浮かべて回答してください。

①「自分の思いを伝えたり、相談したりできる人がいる」認知症の方の割合 0% ☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 100%

②「家族や地域の中で役割を持っている(ゴミ出しや掃除等)」認知症の方の割合 0% ☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 100%

③「自分らしく暮らせている」と考えている認知症の方の割合 0% ☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 100%

④あなたが支援している認知症の人の周りの人(家族や地域)は、認知症への理解があると思いますか。
不十分 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 十分

【問2】現在、市が行っている認知症に関する制度や施策で、役立っているものはありますか。

- 認知症疾患医療センター 認知症サポート医の養成 かかりつけ医の認知症対応力向上
- 認知症初期集中支援チーム 認知症地域支援推進員 しずメール(高齢者の見守り)
- 認知症カフェ チームオレンジ もの忘れ検診
- かけこまち七間町 認知症サポーター養成講座 その他()

↳ 具体的なエピソードがあれば教えてください。

例: ○○を利用した方から満足の声を聞いた。 △△に連携できて助かった。 など

【問3】現在、市が行っている認知症に関する制度や施策で、より充実してほしいものはありますか。

- 認知症疾患医療センター 認知症サポート医の養成 かかりつけ医の認知症対応力向上
- 認知症初期集中支援チーム 認知症地域支援推進員 しずメール(高齢者の見守り)
- 認知症カフェ チームオレンジ もの忘れ検診
- かけこまち七間町 認知症サポーター養成講座 その他()

↳ 具体的なエピソードや、よりよくするための案(要望など)があれば教えてください。

例: ○○を利用した方から××という声を聞いた。 △△だったらもっと良かった。 など

【問4】地域での高齢者を対象とした取り組みで、良いと思うものや、アピールできるものを知っていたら教えてください。

※認知症に特化したものでなくても結構です。行政で把握できていないような社会資源(地域で自主的に行われている取組や住民主体の活動など)の掘り起こしを意図しています。

例: ○○地区では買い物支援や見守りなどのボランティアを月1回程度実施している。
△△自治会では、毎年介護予防の勉強会を実施している。 など

認知症に関するその他ご意見 (自由記述)

[]